

放課後等デイサービスガイドライン自己評価表

アンケート実施期間: 2023年12月
結果公表日: 2024年3月29日

回答率

事業所職員: 5名回答、回答率 100%
保護者様: 15名回答、回答率 81%

職員の意見

○環境・体制整備

- ・個室が無いため、クールダウンが必要な時や学習時など場面に応じてパーテーションを活用している。
- ・訓練室とトイレ・手洗い場の間に段差があるため、手洗いなどをする場合には職員を配置したり、集中的にならないよう順番に声かけを行うことで対応している。
- ・法令上の人員体制は組めているものの送迎の時間によっては職員が十分ではないと感じる場面があるため、送迎や職員配置の更なる工夫が必要である。

○業務改善

- ・業務前ミーティングでは、利用者の情報共有と周知、活動内容を話し合っている。
- ・階層別研修や虐待防止研修等の取り組みを定期的に行っている。

○適切な支援の提供

- ・個別支援計画に基づいた、個別課題を作成し支援を行っている。
- ・月のテーマに合わせて、活動内容を考え活動が固定化しないように行っている。

○関係機関や保護者との連携

- ・学校とは、必要に応じて送迎時に情報共有を行っている。
- ・保護者様とは、送迎時やお迎え時などでご相談を聞いたり、その日の様子や支援内容などを情報共有している。
- ・家庭連携を定期的に行っている。

○保護者への説明責任等

- ・ケガや体調不良、事業所でのトラブル時の対応を送迎時にお伝えしている。
- ・連絡帳に様子や取り組んだ課題を記載し、送迎時にも様子や支援、対応について口頭での情報共有も行っている。

○非常時等の対応

- ・月に一度、活動で地震や水害、火事や不審者対応など様々な目的を設定し避難訓練を行っている。クイズ形式にしたり紙芝居や絵本を使用するなど、子どもたちが理解できるように説明を行っている。

保護者様のご意見

○環境・体制整備

- ・「活動等のスペースが十分に確保されているか」の質問に対して、約8割の方から「はい」の回答をいただいた。
- ・職員配置については、「実際にどのくらいの配置数なのか聞いたことがなく分からない」との意見もいただき、周知方法については工夫を検討する必要がある。

○適切な支援の提供

- ・個別支援計画についての質問に対して、すべての保護者様から評価をいただいた。
- ・「活動のプログラムが固定化されないように工夫されているか」の質問に対して、約8割の方から「はい」との回答をいただいた。
- ・「放課後児童クラブや児童館との交流、障がいのない子どもと活動する機会」の質問に対して、ほとんどの方から「どちらともいえない」の回答をいただき、「交流を希望していない」との意見もいただいた。

○保護者への説明等

- ・「支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか」の質問に対して、9割以上の方から「はい」の回答をいただいた。
- ・新型コロナウイルス感染防止の観点から保護者会は実施できていないが、「希望していない」との意見をいただいた。

○非常時等の対応

- ・月に一度、活動で避難訓練を行っているが、実施していることがすべての利用者には周知できていないため、実施方法と周知方法の工夫を検討する必要がある。

○満足度

- ・「支援に満足しているか」、「子どもは通所を楽しみにしているか」の質問に対して、約8割の方から「はい」との回答をいただき、満足度が高いことがうかがえた。
- ・「いつも利用を楽しみにしている」との意見をいただいた。

昨年度の振り返り

○今年度の取り組む具体策

- ・利用者がより成長できるように、一人ひとりに合った個別課題の作成や集団療育の活動企画を行う。
- ・長期休暇や祝日に課外活動や買い物練習を行い、楽しみながら経験の場を増やしていく。
- ・バリアフリー化や送迎時の職員配置
- ・保護者会の実施

○改善できた点・まだ残る課題

- ・感染症対策をしながら、課外活動の実施ができた。
- ・保護者会の実施ができていないため、子どもの様子が確認しやすくなるようにブログの更新を定期的に行っていく。
- ・コロナウイルスなどの感染症対策を考慮した安全な教室運営を行い、よりバラエティー豊かな活動を行っていく。

アンケート結果からみる教室の強み・改善点

○教室の強み

- ・楽しく個別課題に取り組めるよう、子ども一人ひとりにオリジナルの教材作りを行っている。
- ・特性に合わせたスモールステップの個別療育を実施している。
- ・職員同士がコミュニケーションを密に行うことで、些細なことも情報共有し対応している。

○改善点

- ・緊急時や非常時の対応マニュアルの再周知
- ・感染症対策を踏まえた新しい形の保護者会の実施
- ・教室の環境整備

中長期的な改善計画・1年間で取り組む具体策

○中長期的な改善計画

- ・保護者と利用者のニーズに沿った支援を行えるよう、療育の企画や体制作りを行う。
- ・必要に応じて保護者会の実施をする。
- ・職員体制を整え、安全な教室運営を行う。
- ・非常時や災害時の対応についての周知を行う。

○1年間で取り組む具体策

- ・ブログの更新を定期的に行い、療育や教室の様子を発信していく。
- ・課外活動の実施。
- ・職員のスキルアップのため、事業所内研修の機会を増やす。
- ・職員同士でコミュニケーションを密にとり、様々な情報を交換することで療育の知識を深める。